

ベルリンからのメッセージ

在ドイツ日本国大使館 一等書記官 扇 慎太郎



ビール、サッカー、ソーセージ、寒い。皆さんが持っているドイツに対するイメージはどのようなものでしょうか？

私は現在、在ドイツ日本国大使館に出向し、ドイツの法制度や運用実態に関する情報収集や調査を行い、必要に応じて関係機関への働きかけを行っています。

私が取り組む様々なテーマについて、政府関係者や大学教授、業界団体、研究機関、民間事業者とのヒアリング・協議や、文献調査を行っています。

私が入省した2000年頃はIT革命が第三の革命と呼ばれ、インターネットが持つダイナミズムやその発展に貢献したいという思いで、旧郵政省に入省しました。

ドイツという国は、ナチスや旧東独時代の暗い影を背負っている分、人権や表現の自由、セキュリティの意識が非常に高く、また、ネットは国境を越えて繋がっているため、共に取り組んでいけることが多い国だと考えています。

日本に帰国した際に、総務省に足を運んだ皆さんと、社会のあるべき姿、インターネットの将来について語り合えることを楽しみにしています。

経歴

Table with 4 columns: Year, Month, Position. Includes roles like 郵政省採用, 総務省自治行政局市町村課行政体制整備室, etc.

一人に人、二人に人、三人に人

ハーバード大学 渡辺 善敬



表題は後藤新平の言葉である。内務官僚であった彼は、後に、帝都復興院総裁として関東大震災からの復興に取り組んだ。

「人」の省であるからこそ「主体的」に聞く。総務省は、人を大切に、人に育てられ、人で貢献する。私はロールモデルをその先輩方に見て、総務省の門を叩いた。

額3兆円。ざっくばらんに部下を盛り上げながらその力を引き出し、現場を見極め意思決定し、また、フットワーク軽やかに知事や県幹部、県議会議員、様々な部局を飛び回り、県政の舵を取る。

「視座」を磨く。現在、私は国際関係論を専攻し、東アジア情勢について学んでいる。本学では、Academic Writingを通じて社会科学の分析手法を叩き込まれる。

政治学の観点から見つめなおす大きな視座に感銘を受けたからだ。国家とは何か、市民社会とは何か。教授との議論での鋭い指摘にしどろもどろになり、また、指摘事項で真っ赤に染まった論文原稿を見ると落ち込む。同時に、心から感謝。

国際舞台で働く機会も少なくない総務省では、留学により得られる英語力や業務関連知識、世界中にできる友人は大切である。更に、私は、上述の鍛錬を通じて、視座を広げ、事実認識と大局観を磨くことも重要であると思う。

経歴

Table with 4 columns: Year, Month, Position. Includes roles like 総務省採用, 消防庁防災課, 愛知県総務部市町村課, etc.

活躍の場は海外へ

「今、世界でも「地方自治」が熱い！」

在フランス日本国大使館 一等書記官 白水 伸英



現在、私は在フランス日本国大使館に勤務し、フランスの地方自治を中心とした政治、行政制度の調査、日仏の自治体間交流の支援、フランス外交の分析など幅広い業務を担当している。

■ある日のフランス政府担当官との議論。フランス内務省担当官は、同国の地方自治制度改革について「①フランスは、市町村の数約36,700団体もあり合併を推進したいが難しい。広域行政体の設置など事務の共同処理を推進したい。②州と県の議員が兼務する制度を導入し両者の連携を強化したい。③国際的な都市間競争に勝つため大都市制度「メトロポール」を検討中」と述べた。

など、日本の地方自治制度の論点とよく似ている。このように海外勤務は、外国の取組みを調査・分析することで日本の制度を改めて見直せる最高の機会となる。

■「地方自治」は今後も世界のメインテーマ。日本では1990年代以降、地方分権・地域主権改革が進められている。欧州でも1980年代半ばに欧州地方自治憲章が制定され同様の改革が行われている。

■私が総務省を志望した理由・入省後の勤務経験。私が総務省を志望した理由は、総務省職員との懇談やその勤務経験を聞いた際に「総務省は、机上の計画づくりだけではなく地方などの現場や人を大切に「生きた行政」をやっている」と感じたからである。

民が小学校区ごとに行政ニーズを取りまとめ市に提案するとともに、市民自身もその実施に向け活動する「地域分権制度」を市民とともに構築した。また、国での勤務においても、これら地方における現場体験を地方自治制度の企画・立案に活かすなど「生きた行政」を実践できたと感じている。

このような魅力いっぱいの総務省で、皆さんとともに豊かな地域・国づくりに取り組めることを心より祈念している。

経歴

Table with 4 columns: Year, Month, Position. Includes roles like 自治省採用, 自治局公務員部公務員課, 鹿児島県総務部財政課, etc.

From New York!

ニューヨーク大学 八代 将成



世界中から様々な民族や文化が集まる刺激的な街、ニューヨーク。現在、私は2年間の予定でアメリカに派遣されており、1年目は、ニューヨーク大学ロースクールで反トラスト法(独占禁止法)などの競争法を

人種、職業、年齢等といったバックグラウンドが異なる人材が集められたロースクール。その多様性が故に、前提とする背景知識や考え方も異なり、自分の

意見を相手に伝え、説得するのに骨を折ることもしばしば。

その際のロースクール共通の合言葉は「Think like a lawyer」。アメリカは日本と異なり、コモンロー(判例法)を中心とした国家です。もちろん成文法もありますが、連綿と積み重なる判例から、いかに法律家としてルールを抽出し、適用するのが重要です。

でも、実はこれって、行政官として働く上で基礎となる能力。行政官の仕事は、制度(ルール)作りが醍醐味でもあります。世の中で実際に現在起きている事象について、根底にある問題点を抽出し、解決策を考え、政策として実行していくことが行政官には求められています。

世界各国から選ばれた留学生をいかに説得し、サポートを取り付けるか、困難だけどやりがいのある

経験。留学中のいまだからこそしかできないこの経験を生かして、行政官として成長することができればと思います。

経歴

Table with 4 columns: Year, Month, Position. Includes roles like 総務省採用, 総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課, 行政評価局総務政策評価審議室併任 政策評価官付, etc.